

## 立命館大学アート・リサーチセンター紀要

### 『アート・リサーチ』投稿規定

1. **投稿資格**：アート・リサーチセンターで行われる研究プロジェクトに参加する学内外の研究者（大学院生を含む）および編集委員会が認めた者とする。なお、学部学生の単独投稿は認めない。
2. **原稿の種類**：
  - (1) 投稿された研究論文（査読付）
  - (2) 研究ノート
  - (3) その他（依頼論文、アート・リサーチセンターに関わる講演記録など）いずれも未発表の原稿とし、使用言語は日本語または英語とする。  
投稿は（1）（2）に限り、（3）は編集委員会が依頼または企画する。
3. **原稿の文字数**
  - (1) 研究論文：和文原稿は 12,000 字程度、英文原稿は 6,000words 程度
  - (2) 研究ノート：和文原稿は 8,000 字程度、英文原稿は 4,000words 程度
4. **原稿提出**
  - (1) 原稿は完成原稿を提出する。
  - (2) 原稿は、所定のテンプレートに従い、必要な情報と書式を整えた上で投稿することとする。原稿の不備が著しい場合は、不受理とする。
  - (3) 締切日を過ぎて投稿された原稿は、次号以降の掲載対象とする。
5. **査読・修正・採否**：投稿された研究論文は、2 名による査読結果に基づき、編集委員会において採否を判断する。再査読は、1 回までとする。査読結果に基づいて原稿を修正する場合は、必ず変更箇所がわかるように修正することとする。なお、査読者または編集委員会が原稿の種類変更を推奨する場合がある。  
研究ノートは査読対象外であるが、編集委員会が掲載の可否を判断し、修正を求める場合がある。
6. **校正**：著者校正は 2 回までとし、文章の加筆・修正は原則として初校まで、再校は修正結果の確認程度とする。なお、初校の校正が 2 週間を越えて返却されない場合、再校の校正が 10 日を越えて返却されない場合は、著者は修正を終えたとみなす。
7. **公開・再利用**：編集委員会が掲載を決定した原稿は、インターネット上のオンラインジャーナルとしてアート・リサーチセンターのウェブサイトにおいて公開する。立命館学術成果リポジトリ（R-Cube）など、他の媒体においても公開する場合がある。オンラインジャーナルとして発行した原稿は、事後に紙媒体でも発行する。著者が出典を明示して再利用することは妨げない。
8. **その他**：必要な事項については、編集委員会において判断する。